

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/パズル
- 4~5面 日本海溝・千島海溝の巨大地震に備える/気候正義って?/ホットライン
- 6面 知っておきたいSNSのルール/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/いっしょにあそぼ



東京・江東区 木村登美江

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

ウクライナ侵略と核の脅しは許さない!



被爆地・広島から



ヒロシマ市民アクションに参加したエレナさん(前列中央)・4月2日

ウクライナ出身、広島在住 平石エレナさんに聞く

ロシアによるウクライナ侵略から2カ月余り、東部地域への市民を巻き込んだ無差別・大規模攻撃に、国際的批判が高まっています。ウクライナ出身の平石エレナさん(42)は、2000年に来日し、日本人男性と結婚。母はロシア人、父はウクライナ人で両国にルーツをもち、故郷への支援活動をつづけています。

変わり果てた故郷の姿

—エレナさんの故郷はどんなところですか？

私の故郷、ウクライナ中部のドニプロは、ドニプロ川という首都キーウ(キエフ)にも流れ込んでいるウクライナで一番大きな河の名前がついたきれいな町、大学や銀行もある商業都市です。毎年、家族で帰省する

のを楽しみにしていましたが、その時に使っていた空港も爆撃で壊されてしまいました。短時間のうちに、変わってしまった故郷の姿が、いまだに信じられない思いです。

ドニプロは、マリウポリやドネツクなどロシアが攻撃を本格化している東部から逃げてきた人たちの避難所のようになっ



ウクライナの家族と、ドニプロで(2021年10月)。エレナさんは、右から2人目

ています。私のドニプロのマンションも、避難してきた人たちに利用してもらっています。先日は、穴だらけの車で逃げてきた家族が何日か滞在し、より安全なポーランドへ移動して行きました。数台の車で一緒に逃げてきた人たちはみんな殺されてしまいました。かわいそうに、6~7歳の子どもはおびえ、3日間言葉が出ない状態だったそうです。

音楽で平和の願いをつなげて

—エレナさんは、原爆ドーム前の抗議行動に参加したり、チャリティーコンサートを開くなどの活動をしています、どんな思いで始めたのですか？

「何とか声をあげたい」「できることをやろう」との思いからです。テレビなどの取材にもできるだけ協力し、現地から届いた情報を広めるなど、できることは何でもしようと思っています。チャリティーコンサート

—ロシア軍のなりふりかまわない攻撃に世界の批判が高まっていますが、現地からはどんな状況が？

親戚や友人からは、厳しさを増す現地の様子が届きます。キーウ在住の友人がブチャ周辺(虐殺など「戦争犯罪」の疑惑が指摘されている地域)を車で走った時、遺体だらけで驚いたと言います。大きな戦車で踏まれた遺体をたくさん見て以降、ショックで話せなくなった人たちもいると伝えてきました。多くの建物が壊されたハリコフやマリウポリの友人何人かとは連絡がとれず、心配しています。

トのきっかけは、ドイツの音楽大学で学んでいる息子が、もともと3月には日本に帰ってきてバイオリンのコンサートをする予定だったんです。帰国直後に戦争が始まり、中止しなきゃと思いましたが、集まったお金をウクライナに使えるのではないかと思い直し、そこからのスタートでした。チャリティーコンサートに切り替えてからは、2人の兄も参加し、家族総出で準備しました。

5月7日号は休刊です

2面へ

